

### 13. Love Song(1989)

A B E A B E A  
陽だまりのベランダで 南風に向かって わざと瞳を凝らして 見ていた  
C#m F#m C#m F#m  
いつもと 同はずの 見慣れた景色だけど  
B E  
思い出せなくなるような気がして  
A B E A B E A  
振り向けばそこには ガラス窓のスクリーン あの日の出逢いはもう 映せない  
C#m F#m C#m F#m  
心の メロディーを 奏でていたギターも  
B E  
過去をたどって糸が切れたまま  
A C#m F#m B  
季節はめぐり 時が過ぎれば 涙の跡さえ乾いてしまう  
A D E C G A  
だから遠くで 見つめていたい 後ろ姿に So long

A B E A B E A  
気休めの指きりは後が虚しいだけで 同じ道など歩いて いけない  
C#m F#m C#m F#m  
はにかんだ口元の 言い出せない言葉は  
B E  
もっと大事なところで使って  
A B E A B E A  
子供の頃の夢を人は忘れてしまう 「生きるためさ」と言い訳 しながら  
C#m F#m C#m F#m  
一つ しかない名前 一つしかない命  
B E  
誰に合わせて生きていくのか  
A C#m F#m B  
流されてゆく すべてのものが 涙の意味さえ変わってしまう  
A D  
だからこうして歌っていたい  
E C G A  
募る想いの Lo---ve song  
F G A  
Lo---ve song

